

会 議 録

会 議 名	令和3年度第2回米原市図書館協議会
開 催 日 時	令和3年7月31日（土）午前10時00分～午前11時30分
開 催 場 所	米原市立近江図書館 かたりべホール
出席者および欠席者	出席者：寺村和美委員、和田昌子委員 木船満千子委員、神部直委員、久保田吉則委員、 伊藤治夫委員、西林正夫委員、谷口恵理委員 欠席者：清水冬子委員 事務局：馬淵教育長、上村部長、梶田課長、 梶川館長、寺義主任、武山主事
議 題	協議事項 (1) 米原市立図書館サービス基本計画 内部評価について (2) 米原市立図書館サービス基本計画（第2次計画）（案）について (3) 図書館視察研修について (4) 令和2年度年報について
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	○内部評価の修正点 6 専門性を持った職員によるサービスが保障される図書館 評価DからCに変更 7 山東・近江2館の個性を生かす図書館 評価DからCに変更 その他、事務局案のとおり
	■会長挨拶 皆さんこんにちは。暑い日が続いていますが、いかがお過ごしですか。学校は、夏期休暇に入りました。夏期休暇で思い出すのは、読書感想文ですが、それは今でも変わらないようです。読書感想文はあらすじをまとめたり、高尚なことを書いたりするものではなく、自分のことを書くものだ気づくと、書きやすくなると聞きました。今思えば、確かにそうかもしれません。本日は、次第にあるように、米原市立図書館サービス基本計画の内部評価を行います。内部評価は、図書館協議会の責務ですので、本日も慎重審議よろしくをお願いします。 ■教育長挨拶 皆さんこんにちは。本日は、御多用の中、令和3年度第2回図書館協議会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。毎日暑い日が続きますが、高温多湿の日本の夏の中で、東京オリンピックが開催

されています。開催の是非については賛否両論ありますが、オリンピック競技の中には、子どもたちに感動を与えるような内容もあると考えています。私も全てを見ているわけではありませんが、卓球のペアが金メダルを取った試合は、準決勝・決勝ともに、負けるだろうという流れの中で勝ったので、特に感動的でした。練習で精神力を培う過程は、後々道徳の教材として、子どもたちに努力の大切さを教えるものになるのではないかと考えています。私は、小学校3年生の10月頃に前回の東京オリンピックを経験しました。当時は、選手の名前を覚えるくらい一生懸命見て、友達とたくさん話しました。それに比べて、最近の若者にそのような熱気があるだろうか、オリンピックを楽しんでいないのではないかと心配です。本日は、米原市立図書館サービス基本計画の内部評価について協議をお願いします。同時に、指標も考えていただけたらと思いますので、よろしくお願いします。前回の図書館協議会で、本市でも他市と同様に、図書館に学習室を作って若者を呼び寄せてはどうかという御意見をいただきました。学習室について、試行的に始めていきますので、最後に事務局から御報告させていただきます。よろしくお願いします。

■事務局

ありがとうございました。協議会の委員数が9人で本日の出席人数が8人、米原市立図書館条例施行規則第16条第2項の規定により過半数の出席を得て定足数に達しておりますので、会議は成立していることを報告します。米原市立図書館条例施行規則第16条の規定により、会長が議長になると定めているため、ここからは会長に進めていただきます。よろしくお願いします。

協議事項（1）米原市立図書館サービス基本計画 内部評価について

■会長

それでは、協議事項に入ります。まず、基本目標1から7までの内部評価について、事務局から説明をお願いします。その後、1つずつ評価をしていきます。

■事務局

【米原市立図書館サービス基本計画 内部評価について】【米原市立図書館サービス基本計画 内部評価（案）】に基づいて説明

■事務局

【米原市立図書館サービス基本計画 内部評価（案）】に基づいて説明

■会長

説明が終わりました。質問をして、事務局からの回答を基に評価をしていきます。まず、基本目標1について、質問のある方はお願いします。

1 市民の多様な資料要求に応える図書館

■A委員

資料4は、図書館の自己点検というかたちで解釈すればよろしいですか。また、資料4は、実績が令和元年度、目標が令和3年度で、令和2年度の実績がないのですが、いつ内部評価をされたものですか。加えて、資料3と資料4で内部評価の値が違うものがありますが、資料3は、図書館協議会が出した評価の原案ですか。

■事務局

資料4は、令和元年度の図書館協議会の内部評価です。実績が令和元年度までになっているのは、昨年行っていただいたものだからです。内部評価は、事務局案ではなく、昨年の図書館協議会で協議していただいて決定した値です。資料3と資料4の値が違うことについて、もう一度教えていただけますか。

■A委員

資料4が、昨年度のものだと分かったので大丈夫です。

■会長

(2) 蔵書更新率で、令和元年度と令和2年度の受入冊数、除籍冊数、蔵書冊数を教えてください。実績の根拠はわかりますか。

■事務局

令和2年度の受入冊数は両館合わせて6,271冊、除籍冊数は両館合わせて6,970冊、蔵書冊数は両館合わせて288,635冊です。受入冊数と除籍冊数を足したものを分子、蔵書冊数を分母として計算しています。

■会長

基本目標1の成果の1行目「魅力ある」とは、具体的にどのような意味ですか。非常に抽象的な表現だと思います。

■事務局

求められている魅力は、利用者によって違うと思いますが、事務局が目指す魅力は、いつ来ても新しい資料に出会えることや、自分の興味・関心のある資料が必ずあることなどです。

■会長

評価に関係はありませんが、雑誌の付録はどうしているのですか。先日、新聞記事にあったので、米原市がどうしているのか気になりました。

■事務局

年末などにイベントを開催し、利用者にもらっていただいています。

■B委員

(5) 受入雑誌タイトルの目標を、220誌にしている根拠は何ですか。コロナ禍で企業も売上げが低く、スポンサーをするには厳しくなっているのではないかと、また、年々図書館の貸出冊数や利用者数が減少しているため、企業にスポンサーをするメリットをあまり感じてもらえていないのではないかと思います。米原市の企業が増加しているわけではないため、このような中で、なぜ11誌増やそうとしているのですか。

■事務局

目標は、平成27年度の216誌に対して、令和3年度までの5年間で220誌まで増やしていきたいと設定したものです。平成28年度や平成29年度は目標を超えられていましたが、令和2年度の実績は209誌で、苦戦しています。

■B委員

図書館は、実現可能だと思っていますか。

■事務局

平成27年度時点では、220誌を達成したいと思って目標を設定しました。

■A委員

コロナ禍で実績値が減少しており、目標値を変更するのは理解できます。新たに設定した数値には、何か根拠はありますか。また、他市町も同じように減少していると思いますが、米原市の比率はどうなっていますか。

■事務局

赤字で示してある新たに設定した数値は、計画5年間で何%増加させるかを算出して、令和2年度の実績値にかけたものです。令和元年度と令和2年度の貸出冊数を比較した場合、米原市は他市町よりも減少幅が大きかったです。

■会長

以上でよろしいでしょうか。なければ評価に移ります。前年度のD

をCに上げていますが、よろしいでしょうか。

多数決により、内部評価Cに決定

2 市民の生活に密着し、地域の課題解決に役立つ図書館

■会長

内部評価を上げているので、質問をしていただきたいです。

郷土資料・行政資料の受入は多いと思いますが、利用はどうですか。

■事務局

令和元年度と比べて令和2年度は、全体の貸出冊数も減少しているため、数値で見ると利用は減少しています。しかし、郷土資料や行政資料は、貸出できない資料が多くあり、貸出冊数などの数値だけでは、判断は難しいです。滋賀県や米原市に関する新しい資料には、予約が5、6件入ることもありますし、登録すると利用してもらえていると思います。

■会長

なぜ内部評価をBに上げたのですか。

■事務局

(7)の実績値が昨年度より増加し、目標値を超えていて、(8)の実績値も昨年度より増加しているためです。

■副会長

本来は、受入冊数を評価するのではなく、どのように利用しているかの評価が必要だと思います。

■事務局

指標のところで参考にさせていただきます。

■C委員

滋賀の伝統工芸ブックガイドを作成されたということですが、知りませんでした。昨年度、実際に学校現場で使用するために、伝統工芸に関する資料を近江図書館で借りたのですが、もし知っていたら選書に役立ったのではないかと思います。

■B委員

滋賀の伝統工芸ブックガイドは、昨年12月行った「写真絵本『お蚕さんから糸と綿と』大西暢夫写真展」の時に作成していただいたものです。学校に送付するなど、今後も活用していくのが良いのではないのでしょうか。今はどこに置いてありますか。

■事務局

全て利用者にお持ち帰りいただいたため、今は置いてありません。

また活用を進めていきたいと思ひます。

■ B委員

図書館の情報発信も含めて、市の様々な機関や学校と連携していくのが良いと思ひます。

■ 事務局

学校に滋賀の伝統工芸ブックガイドを配布します。

■ 会長

以上でよろしいでしょうか。Bで妥当だと思ひ方は、挙手をお願いします。

多数決のため内部評価Bに決定

3 だれもが進んで利用できる安心・安全・便利な図書館

■ D委員

(11) 高齢者福祉施設への貸出冊数ですが、平成27年度から令和2年度にかけて、約4分の3も減少しています。その原因は何ですか。また、高齢者福祉施設といっても種類は様々ですが、ここに挙がっている高齢者施設とはどのような所ですか。

■ 事務局

(11) は、高齢者施設の職員が団体貸出で借りた冊数です。令和2年度は、コロナの関係で減少しました。実際に利用があるのは、デイサービスなどです。

■ 会長

減少の原因は、施設の職員が借りに来ないことということですか。

■ 事務局

図書館のPR不足もあると思ひます。

■ 会長

図書館から施設へ持って行くことは、検討しませんか。

■ 事務局

今はコロナ禍のため、計画が少し遅れています。図書館職員が持つて行くのは厳しいため、将来的にはボランティアの方の力を借りながら実施していきたいと考えています。

■ D委員

施設に長時間滞在しないように、入り口で渡すなどできると思ひるので、コロナはあまり関係ないと思ひます。極端に減少しているので、気になります。

■ B委員

団体貸出の登録がされている高齢者施設事業者は20者ほどありますが、以前に団体貸出を利用していた施設も、来館して本を借りて帰るといったことが難しくなっていて、団体貸出冊数が減少しています。そのため、配本が必要ではないかという話を図書館とさせてもらい、私が代表を務めているボランティアグループで協力していきたいと思っています。目標値が850冊と大幅に増加していますが、これは配本を視野に入れた数値なので、高齢者施設事業者の同意が得られ次第実施し、目標を達成したいです。

■A委員

(9)は実際に数値が増加していることから、インターネットなどは、コロナ禍だからこそ利用されるのではないかと思うので、目標を下げるばかりではなく、上げて取り組むべき項目もあるのではないのでしょうか。

■事務局

米原市立図書館サービス基本計画(第2次計画)で、参考にさせていただきます。

■C委員

返却ポストの24時間利用可や、電話での延長可などは、コロナ禍の緊急対応というかたちで行ったものですか。今後も行っていくか。

■事務局

緊急対応というかたちで行っています。しかし、ウィズコロナ・ポストコロナになってきていますので、今後の対応は検討しながら進めていきます。

■副会長

コロナ禍だから行っているということですか。

■事務局

返却ポストの24時間利用可や、電話での延長可は、コロナ禍で人と接触する機会を少しでも減らす目的で行っています。

■副会長

コロナ禍の対応と決めてしまうのではなく、コロナが終息したとしても、利用者のニーズに合わせて柔軟に対応するべきです。今は、インターネットやICTが進んできているので、インターネットからの予約などは、今後も必要とされると思います。

■会長

それでは評価に移ります。前年度と同じCでよろしいでしょうか。

多数決により内部評価Cに決定

4 子どもたちの読書活動を見守り、支援する図書館

■会長

(13)の数値が極端に減少していますが、測定方法を変えたのですか。

■事務局

測定方法は変えていません。コロナ禍で図書館が臨時休館したり、学校の夏休みが短くなったりしたため減少しています。

■C委員

良いことを評価するのは分かりますが、悪いことを評価するのも大切なことだと思います。成果に、利用促進することができたと書いてあるのに、これだけ極端に減少しているのはなぜですか。

■事務局

利用促進につなげることができたというプラスの面がある中で、コロナ禍で貸出冊数が減少するなどのマイナスの面もあったということです。

■A委員

コロナ禍で、貸出冊数が減少するのは、仕方ないと思います。しかし、団体貸出冊数は増加しても良いのではないかという印象を受けました。以前は、学校支援地域本部事業を活用されていたのですが、学校図書館の蔵書も充実してきて、環境も良くなってきているので、だんだんと団体貸出のニーズが減少していると感じます。その中でも、子どもたちが本に触れ合える機会をできるだけ増やせるように、工夫を凝らしてもらいたいです。

■会長

先日、図書館システムの件で、学校司書の研修を行っていましたよね。引き続き、学校司書や図書館の研修は行いますか。

■事務局

学校司書と図書館司書の連携を計画しています。

■C委員

学校司書が全学校に配置され、学校司書の研修などしていただっていますが、まだまだ周知不足で、市立図書館の利用が少ないと思います。小学校1年生から6年生までの幅広いニーズには、学校図書館だけでは応えられないので、市立図書館の資料を学校の教材に沿ったかたちで活用できるように、連携してほしいです。また、教師が図書館で選書することもあります。やはり学校司書を通じて資料を活用で

きると助かるので、流れの良い教育現場にしてもらいたいです。

■会長

学校司書から何か注文はありますか。

■A委員

A小学校は、結構コミュニケーションを取っています。例えば、学校司書から、子どもたちの読書量を増やすためにこういう取組をしてはどうかと提案いただいて、検討させてもらったり、学校から、この作家の本を収集してほしいとお願いして、近江図書館に借りに行ってもらったりしています。

■副会長

4年前のA中学校には、学校司書はいませんでした。今では、学校図書館に様々な工夫をしてくださっています。学校司書は、もっといろいろなことがしたいとのことで、実施したいですが、難しいこともあります。私は、本校でビブリオバトルを行うことと、A高校の図書館を探検しに行くことを提案しました。読書推進というと、どうしても小さい子がターゲットになりがちです。そのため、中学校になると読書推進から一歩引いてしまう気がして、中学校ならではの調べ学習をするようなイベントや図書館探検などができないのではないかと考えました。昨日、県の生涯学習課の司書から、「まいばら読書の日」は浸透しているが、具体的な取組は分からないと言われました。せっかく設定したので、コロナ禍で難しいとは思いますが、何をしたら良いかを考え、軸を作っていくのが大事ではないでしょうか。

■会長

では評価に移ります。前年度と同じCでよろしいでしょうか。

多数決のため、内部評価Cに決定

来年は、BかAになるようにお願いします。

5 地域の人たちとの協力・協働でめざす、交流の場となる図書館

■会長

コロナで大きく影響を受けている項目だと思いますので、前年度と同じCでよろしいですか。

多数決のため、内部評価Cに決定

6 専門性を持った職員によるサービスが保障される図書館

■D委員

(18) が年々減少しているのは、なぜですか。この項目の数値が減

少しているのは、心配です。正直、私が図書館を利用した時も、職員対応はあまり良くなかったです。今までは、返却カウンターに返却本を出していましたが、コロナ禍で箱に入れるようになっていて、その制度を知らなかった私には、その説明の仕方が気になりました。

■事務局

申し訳ございませんでした。箱に返却本を入れるようになったのは、コロナ禍で返却カウンターが混み合っははいけないので、返却できる場所を増やして、導線を分けるためです。

■E委員

私も(18)が気になります。アンケートの回答で「普通」が多いから、結果が良くなれないということですが、集計の仕方を見直すべきだと思います。また、基本目標1の成果にもあるように、私は誠実なカウンター対応だと思っていたので、実績がなぜ低いのか疑問です。

■事務局

言っていたように、職員対応満足度は、利用者アンケートで職員の対応が「良かった」と回答された方の割合で、「普通」「あまり良くなかった」という回答は、反映されていません。

■会長

Dに下がっていますが、外部評価の資料を見ると非常に良いという記述もあったので、私は、Cで良いのではないかと思います、Dだと思う方は挙手をお願いします。

■F委員

私もCで良いと思います。

■会長

皆さんCでよろしいですか。
多数決により、内部評価Cに決定

7 山東・近江2館の個性を生かす図書館

■C委員

資料3と資料4で、(19)の平成30年度と令和元年度の実績が違うのは、転記ミスですか。

■事務局

令和元年度に行った調査の結果なので、資料4では令和元年度の実績値としていました。しかし、調査の内容を見ると、平成30年度の実績であったため、資料3で修正しています。

■E委員

若年層は、何歳から何歳までですか。

■事務局

19歳から39歳までです。

■B委員

Dに下げているのにもかかわらず、成果に良いことしか書いていないので、なぜDにしたのかが分かりません。評価の変動によって、成果に書くものを変えた方が良いと思います。

■事務局

実績が3つとも減少してしまったので、Dにしています。

■B委員

コロナ禍でも、(21)が57,887冊というのは異常だと思っていますか。

■事務局

異常だとは思っていませんが、減少してしまったと思っています。

■会長

(21)は、図書館で何か取組をしたからといって増加するのでもないと思います。電子書籍などもあるので、数値にこだわらなくても良いのではないのでしょうか。そのため、内部評価もCのままで良いのではないかと思います。

■F委員

コロナ禍で(13)(14)や全体の貸出冊数も減少しているので、若年層だけが突出して減少しているとは思えません。臨時休館もあったので、やむを得ない結果なのではないのでしょうか。コロナが終息しても、減少傾向にあったらDになるとと思いますが、今年度はCで良いのではないかと思います。

■会長

皆さん、Cでいかかでしょうか。

多数決により、内部評価Cに決定

協議事項(2)米原市立図書館サービス基本計画(第2次計画)(案)について

■事務局

【第3期教育振興基本計画 評価指標設定シート】に基づいて説明

■事務局

教育振興基本計画という教育全般に関する計画が、令和3年度までが第2期、令和4年度から令和8年度までが第3期ということで、現

を見直しをしています。説明させていただいた指標は、昨晚の教育振興基本計画の審議会で、事務局が提案したものです。できれば、この指標を米原市立図書館サービス基本計画にも反映させたいと考えていますので、御意見をお願いします。

■A委員

3分の2が子ども読書活動を推進するもので、成人についての指標がありません。子どもの読書を推進するのが大事なのは分かりますが、貸出冊数を全市民で見るなどにした方が良いのではないのでしょうか。また、図書館の利用促進を、レファレンス満足度で測るのは少し違うのではないかと思います。加えて、レファレンス満足度の目標値が、令和3年度と令和8年度が同じ数値になっています。令和2年度が43.1%なので、令和3年度が50%なのは分かりますが、令和8年度は55%や60%などの高い数値を指標とするべきではないのでしょうか。

■B委員

昨晚の審議会に出席し、A委員と同じ意見を言いました。また、子どもの読書活動の推進を、小学校と中学校の達成率で測るのも少し違うのではないかと思います。

■会長

F委員、何か御意見ありますか。

■F委員

子どもの読書環境の整備・充実の現状値の8.7冊は、コロナ禍なので仕方ないと思います。コロナ以前の実績が分からないため、令和8年度の目標値の18冊は、突出して見えました。

■事務局

令和元年度の実績が15.6冊なので、18冊に設定しました。

■会長

これから電子書籍が増えていくと思います。県内の図書館で電子書籍を入れている所もありますが、紙媒体にこだわるのですか。この貸出冊数は、電子書籍を含みますか。

■事務局

図書館の本の貸出冊数なので、含みません。

■会長

協議したら、この数値は変わるのですか。

■事務局

数値が変わる可能性がないことはないですが、一応、昨晚議論して、

審議会長からおおむね妥当であるという意見をいただいている状態です。教育振興基本計画は、米原市立図書館サービス基本計画の上位計画なので、こちらの指標を米原市立図書館サービス基本計画にも活用していきたいと思っています。

■ B委員

今回、評価指標を全て新設するのに、事務局の協議で決定しているので納得できません。貸出冊数を1か月に1冊以上本を読んだ児童生徒の割合で測ったり、図書館の利用促進をレファレンス満足度で測ったりと、関連がないと思います。この指標について、図書館協議会で協議しましたか。

■ 事務局

図書館協議会で、教育振興基本計画について協議したことはありません。しかし、この指標は、以前に協議していただいた子ども読書活動推進計画（第3次計画）のものです。また、図書館の利用促進は、基本目標4の生涯にわたって学び合えるという生涯学習に関するものです。そのため、市民の方々が調べたい、知りたいといった時に、図書館は本で支援できるという意味で、レファレンス満足度が当てはまると思い選びました。

■ B委員

米原市で取ったアンケートで、親が本を読んでない世帯は、子どもも本を読んでないという結果が出て、それを教訓にしていけないといけなという意見がありました。教育は、やはり親だと思っています。親がスマートフォンばかり触っているのに、子どもに本を読めと言っても、読むわけがありません。そのため、A委員が言われたように、15歳以下に絞るのではなくて、市民一人当たりの方が良いのでしょうか。15歳以下の貸出冊数を指標にしてしまうと、親の読書が埋もれてしまいます。子どもの読書は確かに大事ですが、指標の対象を全て子どもにするのは、いかがなものかと思います。

■ 会長

肯定より否定的な意見が多いです。お持ち帰りいただいて、教育振興基本計画に活かしてください。

■ 事務局

米原市立図書館サービス基本計画（第2次計画）の指標についての資料が何も無かったため、昨晚の会議の資料が議論の参考となればと思います、紹介させていただきました。本日いただいた意見は、持ち帰らせていただき議論します。

■会長

本日の意見を踏まえて、事務局から指標が送られてくるので、次回の図書館協議会では、その資料について議論していただきます。

協議事項（3）図書館視察研修について

■事務局

口頭にて説明

■副会長

米原市立図書館の課題となる、子どもや高齢者に対しての読書活動の推進などを上手に行っている図書館を選んでいただきたいです。

■B委員

令和元年度は、A市立図書館という新しくできたばかりで、全国的にも有名なすごい図書館に視察研修で行かせてもらいました。私たちが視察研修先の良いと感じた取組を、米原市立図書館でも行ってほしいと言っても、予算などの関係で実現は難しいように思います。図書館視察研修は、何のために行っているのですか。副会長が言ったように、課題を解決するためのものなら良いですが、ただ行くだけでは意味がないと思います。

■事務局

学習室は、令和2年度の視察研修で訪問したB市立図書館から学んでいただいて、委員の皆さんから意見をいただき、前向きに検討させていただいたものです。また、「まいばら読書の日」のポスターの制作も考えておりますが、それも令和元年度に訪問したC市立図書館を参考にさせていただいています。

■会長

受入先の都合もありますので、訪問先は事務局にお任せします。その他に移ります。

■事務局

ナツヨミ、図書館ビンゴ、学習室について口頭で説明

■会長

全体を通して、何か質問はありますか。ないようなので、事務局にお返しします。

■事務局

会長、会議の進行ありがとうございました。委員の皆さんにおかれましては、長時間慎重審議いただき、貴重な御意見をいただきましてありがとうございました。それでは閉会に当たり、副会長から御挨拶

	<p>を頂戴したいと思います。よろしく申し上げます。</p> <p>■副会長</p> <p>本日は、長時間ありがとうございました。私は、いつも子ども読書についての意見を話すのですが、本日の指標など様々な議論の中で、高齢者や高校生、若年層の読書活動も考えていかなければならないと思います。読書は、生涯学習の一環であり、本によって、心豊かな充実した生活が送れるということを改めて感じました。また、様々なことを勉強していきたいと思います。先日、D市の公民館や図書館で学習室を開放するというお知らせが来て、米原市も早く行ってほしいと思っていたので、学習室の開放が実現できて大変うれしく思います。子どもたちが、図書館で学習できると本を読む機会も増えると思います。本日はありがとうございました。</p> <p>■事務局</p> <p>それでは以上をもちまして、第2回図書館協議会を閉会します。長時間ありがとうございました。</p>
--	---

会議の公開・非公開の別	<p>■公開 <u>傍聴者： 0人</u></p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>一部公開または非公開とした理由 (質問および発言者の委員名)</p>
会議録の開示・非開示の別	<p><input type="checkbox"/>開示</p> <p>■一部開示(根拠法令等：)</p> <p><input type="checkbox"/>非開示(根拠法令等：)</p>
全部記録の有無	<p>会議の全部記録 <input type="checkbox"/>有 ■無</p> <p>録音テープ記録 <input type="checkbox"/>有 ■無</p>
担 当 課	教育部 米原市立近江図書館 (外線 52-5246)